

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	令和元年11月21日(木)午後7時30分～午後9時00分
会場	泉町公民館
地域座談会の内容(意見交換等の内容等)	
<p>① 県民手帳の販売が市役所4階では行きづらい。市民生活課など、2階で販売することはできないか。 →確かにわざわざ4階に行くのは大変、来年になるが検討していく。</p> <p>② 回覧板だけではなく、情報が一括で把握できる市独自の手帳があってもいいのではないか。 →ニーズを把握していきたい。県民手帳は売り上げとコストが見合っているようだ。コスト面でも検討していきたい。コスト面で、できなければ市のホームページで手帳に変わるものをできないわけではないと思う。</p> <p>③ 厚生労働省で病院再編が提議され、市立病院も対象とされていた。市立病院が廃院されると安心安全がなくなる。市立病院の役割は大きく縮小も問題である。国の統廃合の動きや市の考えはどうか。 →県立病院は4つあるがすべて赤字であり河北病院は毎年10億円ほどの赤字を出している。河北病院へは、3割ほど寒河江市民が外来で行っており西村山郡への影響は大きい。河北病院も市立病院も老朽化しており、いずれ建て直しも考えて行かなければならないが、北村山・西村山を一緒にと検討した場合、人口の多いところに整備されてしまう可能性がある。きちんと市立病院は残し、例えば河北病院と市立病院を一緒にし、朝日・西川病院はサテライト病院とするなど各病院の機能と役割を分担するなどし、守っていく必要がある。年度内に青写真をつくり理解を求めていきたい。1市4町、県、山大の理解も必要。市立病院の在り方を協議し寒河江市を中心に病院を守っていく構想をまとめていきたい。</p> <p>④ 街路樹は、落ち葉の管理が大変な上、歩道が狭くなる。寒河江の周りは緑がいっぱいである。また剪定にもお金がかかる。寒河江の歩道に街路樹は必要なのか。</p>	

→近年は街路樹がない方がいいという声も強くなっている。また、歩行者が街路樹で見えない等の危険や電柱への影響もある。さらに地域では落ち葉で苦労している。そうしたことから、ここ数年は新しい街路樹は植えておらず、植えても大きくならない木を植栽している。ただ、切ってしまうと元には戻らない。必要とする人もいるので、地域で検討しどうしても切ってしまうのなら、地域の皆さんで意見がまとまったら声を聴いて対応を考えていきたい。

- ⑤ 平塩の用水路は住宅も近く、水稻の時期など水かさがすごく危険であるが堰に架かる各戸へ渡るための橋の欄干など強度が無く危険なように思われる。平成30年5月に市民生活課に相談したが、管轄が中山町にある土地改良区という答えで、対応が良くなかった。子どもの安全対策も人口対策の一つとし、安全対策をお願いしたい。

→管轄（最上堰）が違うということだけで処理した対応は申し訳なかった。確かに管轄の違いもあるが、どんな計画があるのかを確認し、そこが対応できなければ、市で何ができるかを検討し、勝手にはできないので事故が起きる前に協議したい。

（担当課回答）

橋周辺部の安全対策につきましては市建設管理課に、欄干を含めた橋本体に係る部分につきましては最上堰土地改良区に、平塩町会若しくは区を通じご相談、ご要望をご提出くださるようお願いいたします。町会等からの要望を踏まえ対応してまいります。

- ⑥ 都市計画マスタープランのもと南部の踏切改良工事が進められ感謝申し上げます。都市計画マスタープランの次の道路整備計画はどうなのか。

→市立病院前は整備が終了したので、現在は、ほなみ団地から陵東中への環状線の整備をしている。

踏切整備については、時間がかかるが、令和2年度の完了予定としており、その際、踏切が閉ざされることもあるのでご理解をお願いしたい。

- ⑦ （二の堰）側溝に蓋をされると雪が投げられなくなる。温泉で溶けなくなる。グレーチングだといひ。

→研究してまいります。

（担当課回答）

側溝への排雪については、側溝等に投げた雪が詰まり、下流域であふれ、道路や住宅地の冠水などをもたらす場合がありますので行わないでください。

- ⑧ この泉町地区は私道が多く、私道の排雪について市に相談したが、難しいとの回答だった。袋小路の雪投げは大変で除雪でたまった雪を排雪してほしい。地下水の散水での消雪は出来ないか。私道を市道に編入するなどし、ロータリーで排雪してほしい。雪を投げている踏切の所の水路のルートはどうなるのか。

→踏切の所を見て考えさせてもらいたい。また、散水での消雪は、コストやメンテナンスの問題で、今は新たにやっているところはないようだ。地域の人からの協力もお願いしたい。雪が降る前に検討していきたい。

- ⑨ 市民浴場から公園前を通り下ったところの十字路が通学路になっているが、街灯が暗くて危険。歩行者が車から見えにくい、凍結でも危険である。反対側へ街灯の増設などもどうか。

→LEDになっていないのか現場を見て確認し、暗ければ明るくしなければならぬ。必要なら増設も、電気代は地元なので相談が必要である。

(担当課回答)

令和2年度の道路照明灯の整備に向けて検討してまいります。

- ⑩ 市議会だよりで市民浴場の新設計画があったが、スポーツ交流で道具の必要ないスポーツとして、その一帯にランニングコースを併設は出来ないか。

→現在の市民浴場は活断層の上であり、公園の川の方に移設する案がある。公園には温泉の設置だけではだめなので、民間を妨害しない程度の健康施設を考えている。ふるさと総合公園、平塩側、グリバー寒河江を国交省の整備で運動健康エリアとしてランニング周遊などを考えている。

- ⑪ グリバー寒河江の建物の間の道が通りにくい。

→グリバー寒河江は、周遊できるよう舗装したので、更に充実を図り検討したい。

- ⑫ 南部小学校の児童（260人）が減っている。子どもが寒河江に住みたい街づくりはどうか。

→ヨーロッパは、人口減から施策の効果で、また増えている。国県市も人口減

に歯止めをかけようとしている。市も一生懸命していく。施策の効果は模索中だが、成果が出ているものもある。寒河江は市民の人柄もよく住みやすい。警察、新聞社など寒河江に人事異動を希望する人も多いと聞いている。寒河江の資源を大事にし、施策の展開をしていきたい。